



市長とランチミーティング 71

第71回「市長とランチミーティング」は10月30日(月)に「石垣市甘しょ生産組合」の皆さんと行われました。

中山市長

ランチミーティングに申込みいただきましてありがとうございます。ここ数年芋に対する環境が変化し、しつかりと産業化されて収益性の高い、付加価値の高いお土産品等に加工されているというのを聞いています。いろんなご意見をいただきながらそれを行政に活かしていきたいとおもっていますのでよろしくお願いします。

組合長 石垣市の芋が拠点産地として認定されたのは初めてで、県から指定してもらえてうれしいです。農政の皆さんの考え方を吸収し、申請をして、認定を受けさせて頂いたというのは市長のおかげでございます。ありがとうございます。あとは生産性が拡大できるかどうか、地域が生産・出荷・生産組合それから行政が一体となって産地協議会をつくって運営していく必

要があると考えています。

組合員

石垣は加工するものが無いんですよ。農水産業を強くしてもらえれば製造業も絶対に活発化しますのだからやりてほしい。全てのお店に漏れなく行き渡ってやるような農産物を使ったのは芋しかない。地域の農業の旗振り役になれるんじゃないかなと



思っています。

組合員

もうちよつとどんな作り方でやっていったほうがいいというモデルをつくらなくらいと。みんな自由な発想に任せて品質がばらついてとも思うところがあります。

企画部長

植え付けの時期や肥料の撒き方、土の作り方を確立した手順をみんな共通にしてという石垣島ブランドという作りこみができますか？

組合長

将来的にはそうなつてほしいですね。

組合員

サトウキビとの輪作もできるんですよ。芋を秋植えしたらサトウキビの夏植えに十分間に合うんです。芋がいいのは元肥と一緒に農薬のプリンスベイトを使うからです。

組合員 だから芋作った後はサトウキビを植えても虫が極端に少ないんです。

組合員

資材が一番高いのがプリンスベイトですよ。だから初めて植える農家が売り物に出来るかどうかわからないので迷うんですよ。入口を入りやすくしてもらえれば助かります。

農林水産部長

要望を聞き、どれくらい必要なのか検討しながら対応していきたいとおもいます。

組合員

サトウキビの枕刈り時に芋を植えてもらってもいいんじゃないですかね。枕刈りの部分に植えれば収穫までの間に2回取れますよ。そういう運動もやっていきたいとおもっています。それと問題になっっているのが苗です。

実のついた芋を太らすことは農家ができるけど、数とい